

消棒RESCUE 噴射デモに関する手順書

◆消棒RESCUEは総務省消防庁が定める

『エアゾール式簡易消火具 技術上の規格を定める省令』に沿った消火実験に合格し
消防庁より認可を取得している製品です。 認可番号：A 115129102A

◆消棒RESCUEは、500 g のおもりを15cmの高さから作動部に落とす（0.5J）と作動する
ように設定、設計、製造、検査されています。

噴射手順

① 消棒RESCUE上部の安全ピン（赤色）を上におこし、手前に引き抜く。



1.ピンを起こす



2.手前に引っ張る



3.ピンを引き抜く

② 噴射口の方向を確認し、20cm～30cmの高さから手根部（手の平の下の方）を
振りおろし垂直に強く叩く。

（上部を叩くことでニードル（針）が鉄製ポンベに刺さり穴が開くことで噴射する構造）



※デモの際、手が痛い方、力の弱い方は軍手や手袋をご使用ください。

③ 噴射時間7～10秒 /放射距離 1.5m



【噴射中】

- ◆二酸化炭素のみが噴射されるため周囲を汚すことはありません。
- ◆電子機器にかかってもダメージを与えません。
- ◆噴射中は顔に向けないでください。

◆噴射口シールに関して

仕様変更前



①噴射口シールが噴射口を塞ぐように貼ってある製品

⇒**噴射口シールを剥がす必要はありません。**噴射の勢いでシールは吹き飛びます。

仕様変更後



②噴射口シールが穴の上に貼ってあり噴射口が見えている製品

⇒**そのまま噴射してください。**

【注意事項】

- ・二酸化炭素が噴射されますが、窒息濃度に達するような容量ではないため**室内で噴射実験可能です。**
- ・ポンペを回して外したり、分解はしないでください。
- ・噴射させる際、叩き方が弱くポンペに小さな穴しか開かなかった場合、本体の隙間から噴射されたり、微量ずつしか噴射されない場合があります。
20～30cm上から手根部で強く叩いてください。
- ・大きな音がしますので周囲にお声がけしてから噴射してください。
- ・使用後は自治体が定めている**不燃物の日に処分**してください。
(分解せずそのまま処分可能)